

ドローン利活用の可能性と展望

当社は 1999 年の設立以来、ドローンパイロットを育成する一般社団法人日本 UAS 産業振興協議会 (JUIDA) の運営をスタートし、ドローンの産業活用のパイオニアとして研究開発を進めてきました。

現在は、複数のドローンやロボットを遠隔で制御し、統合管理するプラットフォーム「Blue Earth Platform (BEP)」を基軸に、点検、警備、物流、教育、安全、エンターテインメントの 5 つの分野でサービス展開しており、その全てに BEP が組み込まれています。

屋内点検サービスは、球体ドローン「ELIOS」を活用し、下水管やプラントなど危険な場所を人の代わりにドローンで点検し、安全性と作業効率の向上、コスト削減を実現します。

また、倉庫内在庫管理サービス「BIAMY」は、自己位置推定わずか±1cm と世界トップレベルの精度を実現し、倉庫管理の大幅な効率化を可能にします。

物流サービスは、国土交通省、東京大学、IHI 運搬機械株式会社と共同で開発した、数 cm の精度で着陸を可能にする、ドローンの離発着基地 物流用ドローンポート「BI PORT」を展開し、あらゆるドローンの離発着を担う空の物流インフラ整備を目指します。

ブルーイノベーションは、今後も安全で効率の高いドローンの積極的な利活用を推進してまいります。